



# 明るい未来を切り拓く



名古屋大学  
理事長 学長  
堀健二郎

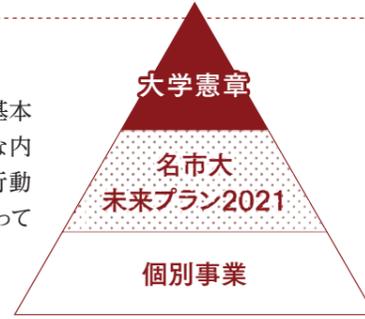
## 「名市大未来プラン2021」策定

本学では、2014年10月に「名市大未来プラン」を策定しました。策定から6年が経ち、当初掲げていた52項目のプランはほぼ実現することができました。この「名市大未来プラン」を継承しつつ、本学の現状や社会情勢の変化を踏まえて、今後進むべき方向性を長期的かつ戦略的な視点で示す道しるべとして、新たなプラン「名市大未来プラン2021」を策定しました。

この名市大未来プラン2021の内容をもとに第四期中期計画を策定することで、本学の明るい未来の実現を目指していきます。

### 【大学憲章との関係性】

名市大未来プラン2021は、本学の基本理念にふさわしい長期的・普遍的な内容とこれを踏まえた本学関係者の行動指針を示す「大学憲章」の精神に則って策定しました。



### 【4つのビジョン】

2014年に策定した名市大未来プランでは、4つのビジョンを掲げ、大学・附属病院の運営に取り組んできました。

- 1 誇りを持ち、愛される名市大：教育・研究・診療の環境づくり
- 2 名古屋市と共に発展する名市大：名市大の明るい未来づくり
- 3 戦略性を持って世界に飛躍する名市大：和、実行力、戦略性、透明性のある大学づくり
- 4 経営基盤が安定した名市大：経営改善に向けた体制づくり

### 【3つの視点(3S)】

名市大未来プラン2021では、「名市大未来プラン」で掲げた4つのビジョンを踏まえた上で、新たに3つの視点(3S)を設定しました。



**Society 5.0**：人工知能やデータベースを利用して人とモノがつながる社会

**Social Innovation**：既存の解決法より効果的・効率的かつ持続可能な、社会問題に対する革新的な解決法

**SDGs**：Sustainable Development Goals. 持続可能な開発目標

## 名市大未来プラン2021 48のプラン一覧

### 1. 教育



- |                                  |                               |
|----------------------------------|-------------------------------|
| (1) Society5.0をこえて活躍する未来志向の人材育成  | (5) 自主的・自律的な学修をサポートする施設・設備の整備 |
| (2) 多様な学修者に対応できる柔軟な教育プログラムの構築    | (6) ICTを活用した学修環境の充実           |
| (3) 学生本位の学修に対応した教育機会・学修支援の充実     | (7) 名古屋市教育委員会との連携および高大連携の強化   |
| (4) 広い視野を持ち質の高い教育ができる教員による教育力の向上 |                               |

### 2. 研究・産学官イノベーション



- |                                  |                               |
|----------------------------------|-------------------------------|
| (1) 異分野融合型の革新的研究の推進              | (7) 研究拠点の設置と研究設備の拡充           |
| (2) 市民の健康と福祉に革新をもたらす先進的な研究の推進    | (8) 持続的な研究費の獲得                |
| (3) 社会課題・社会ニーズをベースとしたイノベーションの実現  | (9) 研究成果の戦略的・効果的な発信           |
| (4) 産学官連携支援体制の強化による共同研究の推進       | (10) 名古屋市と連携した産学官連携の名市大モデルの構築 |
| (5) スタートアップ企業支援によるイノベーションの創出     |                               |
| (6) 優秀な若手研究者や大学院生が集まる魅力的な研究環境の構築 |                               |

### 3. 社会貢献



- 1 SDGs17の目標達成に向けた取り組みの推進
- 2 持続可能な地域づくりへの貢献
- 3 学修者が自分自身を改革するための継続的な学びの環境の創出
- 4 名古屋市が抱える課題の解決への貢献

### 4. 国際化



- 1 教育・研究の国際化のための仕組みづくり
- 2 国際交流センターの機能・体制強化
- 3 海外拠点校を中心とした交流および協働の推進
- 4 名古屋市の多文化共生を支える学際的な実践研究の促進

### 5. 医療



- |                                      |                              |
|--------------------------------------|------------------------------|
| (1) 約1,800床の病床を活かした医療体制の強化と高度先進医療の提供 | (6) ビッグデータ・高度情報技術・ロボット技術の利活用 |
| (2) 超高齢社会における医療体制の提供と地域医療への貢献        | (7) 臨床研究・治験ネットワークの構築         |
| (3) 高度先進医療提供のための病院機能の強化              | (8) 安定経営のための経営改革・組織改革の推進     |
| (4) 救急・災害医療機能の強化                     |                              |
| (5) 優れた医療人の育成と質の高い医療を提供する組織の構築       |                              |

### 6. 経営基盤



- |                           |                                    |
|---------------------------|------------------------------------|
| (1) 法人運営の基盤となる財源の確保       | (4) 資源の適切な配分やAI・ICTの活用等による法人運営の効率化 |
| (2) 多様な財源の確保に向けた取り組み      | (5) 長寿命化の視点に立った施設整備・有効活用           |
| (3) 附属病院群の堅実経営による法人運営の安定化 |                                    |

### 7. 組織マネジメント



- 1 常に社会変化に対応できる柔軟な組織への進化
- 2 戦略的な人材確保、育成および配置
- 3 教職員一人ひとりが活躍できるためのダイバーシティの推進
- 4 組織マネジメントにおけるAI・ICTの活用

### 8. MIRAIへの展開



- |                                 |                      |
|---------------------------------|----------------------|
| (1) 世界TOP100を目指した戦略的な投資         | (5) 同窓会と名市大サポーターの協働  |
| (2) 本学が持続的に発展するための柔軟な対応         | (6) 名古屋市や関係省庁との連携の進化 |
| (3) AI・ICTの積極的利用による複数キャンパスの最適活用 |                      |
| (4) ブランド力の強化による国内外におけるプレゼンスの向上  |                      |